



地方独立行政法人  
**加古川市民病院機構**  
Kakogawa City Hospital Organization

# おひさま

Vol.3

2014年8月

加古川西市民病院 Kakogawa West City Hospital  
〒675-8611 加古川市米田町平津384-1  
TEL:079-432-3531(代) FAX:079-432-3672

加古川東市民病院 Kakogawa East City Hospital  
〒675-0115 加古川市平岡町一色797-295  
TEL:079-437-2515(代) FAX:079-437-3806

## ● 事務部長ご挨拶

加古川西市民病院・加古川東市民病院 統括事務部長：肥川 一元

### 1. はじめに

平成26年4月1日付で入職し、はや3ヶ月が経過しました。入職前最近11年間は、主に自治体病院絡みの経営コンサル業務を当該病院職員として勤めました。故郷福岡県の大牟田市立病院を手始めに県立病院を民営化した“おんが・おかがき”病院（同県遠賀町）、市立病院を民営化した戸畠共立病院（北九州市）、今年の3月までは千葉市病院局にて市立2病院（青葉・海浜）の経営に携わりました。まさに裸一貫の病院事務職の渡り人生です。



### 2. 上司は横綱審議委員

千葉市病院局は3年前の公募採用にはじまります。上司は、整形外科の碩学 守屋秀繁 千葉大学名誉教授です。大相撲の横綱審議委員でもあります。ユニークなお人柄は同氏のブログ“名誉教授の独り言”を検索参照いただければと思います。学生時代は柔道部で格闘技に関心を持つ私は、東京両国で開催される本場所には必然的に上司のお供をするようになりました。先ずは場所前の横綱審議委員による稽古総見に同伴します。両国国技館の相撲教習所で非公開にて行われます。十両以上の力士が番付け順に稽古をして最後は横綱の稽古で終了します。稽古とは言え至近距離での力士のぶつかり合いは迫力満点です。本場所では維持員席正1列4番が上司の指定席です。正面土俵最前列真ん中の席です。毎場所上司が観戦できない日に身代わり観戦。敗れた横綱白鵬の下敷きになった時は大迫力でした。本年1月場所は千秋楽をご褒美観戦し感激！！蛮声を張り上げ、君が代齊唱。ちなみに優勝決定戦で白鵬対鶴竜が対戦し白鵬が優勝しました。場所後はときどき相撲部屋を訪ねます。八角部屋（元横綱北勝海）を横審委員3人に同伴して訪ねたときは、50人前のケーキを持参し歓迎を受けました。稽古後にちゃんと鍋を御馳走になり八角親方の力士指導の悩みを伺い激励しました。親方曰く『最近の若者は酒を飲みません。ケーキの差し入れはありがたい』、これを聞いたちゃんと給仕の若い力士達が笑みを浮かべうなずいたことが印象に残っています。大相撲を我が國固有の芸術文化財と感じた3年間でした。

### 3. “地域連携” よろしくお願ひします！

病院を渡り歩く中でヒトに出会い、得難い場面に直面し貴重な経験もしました。地域完結型医療の時代にあって自治体病院はその一端を担うことはできてもそれ以上のものではない。このことを痛いほど学んだ気がします。世は少子高齢化時代。地域包括ケアの推進が叫ばれ急性期医療から慢性期医療さらには施設・在宅介護分野までの一連の切れ目なき連携が必要になります。慢性期医療や介護の分野は民間の活力に負うことになります。加古川市民病院機構は、急性期医療を通じて民間の医療・介護提供機関と連携し、地域完結型医療の一翼を担いたいと考えています。今、建設中の新病院でも然りであります。連携なくして地域完結型医療や地域包括ケアの完成は無いと考えています。よろしくお願ひします。

# ● PET-CT検査の紹介 ~がん診療のサポートに~

加古川西市民病院 放射線室 診療放射線技師：大橋 明峰



がん診療における地域のニーズに応え、当院では平成20年11月より現在まで約8400件のPET-CT検査を行ってまいりました。開始当初、保険適用となるがんは12種類に限られていたが、平成22年度からは早期胃癌を除き悪性リンパ腫を含む悪性腫瘍、平成24年度からは心サルコイドーシスによる炎症部位の診断にも適用拡大され、その重要性はますます認知されております。

この検査は、正常細胞に比べ3～8倍も糖代謝が亢進しているがん細胞の性質を利用しています。18F(フッ素)で標識したブドウ糖の誘導体FDGを静注し、糖代謝を画像化することで、CT画像による「形状の変化」と同時にPET画像による「細胞の活動状態」を知ることができます。

全身を一度に撮影するため、病期診断や転移・再発の検索、原発不明癌の原発巣検索を得意とします。特に、治療後の瘢痕と再発巣との鑑別や治療効果判定など、従来の検査では難しかった診断にも大変有用です。しかし、糖代謝の低いがんやmm程度の小さな病変は偽陰性となる場合もあります。また、炎症や良性腫瘍などにもFDGが集まることがあります、読影には高度な専門知識が必要です。

今回は、近隣の診療所よりご依頼をいただいた原発不明癌の原発巣検索とPET-CT検診の2例を紹介します。

1例目は、左臼蓋部の痛みを主訴とされた70歳代男性です。レントゲンでは同部の転移性骨腫瘍を疑うが腫瘍マーカーは陰性でした。CT、上部内視鏡、下部内視鏡では原発巣の特定には至らずPET-CT検査のご依頼をいただきました。MIP正面像では左臼蓋部以外にも左腋窩や縦隔、腹部大動脈傍、右鎖骨などリンパ節にFDGの高集積を認めます。PET-CTのfusion横断面像では前立腺に一致してFDGの高集積を認めます(矢印)。前立腺癌および骨、リンパ節への転移と診断し、生検により確定されました。

2例目は、PET-CT検診を受けられた70歳代男性です。交通事故による側胸部打撲と緑内障による視力低下以外に自覚症状はありませんでした。PET-CTのfusion横断面像では左肺底部の結節影 $\phi 15\text{mm} \times 22\text{mm}$ に一致してFDGの高集積(SUVmax 3.763)が認められますが、打撲後の炎症性変化も疑われたので経過観察となりました。6ヶ月後の胸部CT検査では結節影の大きさは変わりませんがPET-CT検査ではSUVmax 4.523とFDG集積が上昇しました。気管支鏡・病理検査の結果、腺癌と確定しました。検診から9ヶ月後の胸部CTでようやく結節影の増大を認めました。「細胞の活動状態」を見ることによって、従来検査よりも早期に診断できた症例です。

PET-CT検査の前処置は5時間前からの絶食(カロリーのない水や茶は可)と前日の激しい運動禁止のみで、検査中も注射以外には痛みや不快感はありません。また、PET-CT装置の中央部分に開放空間があるものを採用しているため、閉所恐怖症のある方でも安心して受けていただけます。

検査依頼様式は当院ホームページからダウンロードできますが、不明な点は地域連携室までお気軽に問い合わせください。

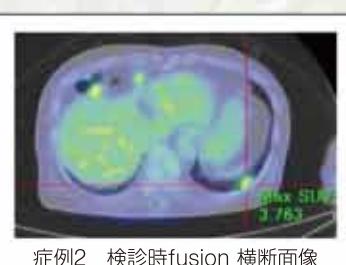
今後ともより上質な検査データを提供し、地域医療に貢献してまいりたいと考えておりますので、がん検診を希望される患者さんには、ぜひ当院のPET-CT検査をご利用ください。



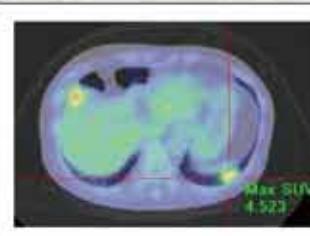
症例1 fusion 横断面像



症例1 MIP 正面像



症例2 検診時fusion 横断面像



症例2 6ヶ月後fusion 横断面像



当院のPET-CT装置 中央に隙間がある

# ● 外来化学療法室の役割 ~治療を受けながらの日常生活を支える~

加古川西市民病院 がん化学療法看護認定看護師：出口 直子

加古川西市民病院の外来化学療法室は平成21年に開設され、昨年度は2670件の化学療法（内分泌療法等 1,411 件含む）を行いました。外来化学療法は、日常生活と治療の両立ができるというメリットがありますが、治療後の有害事象が自宅で出現するリスクが高いことが考えられます。そのため外来化学療法室の看護師は、治療によって起こってくる有害事象を理解し、「患者さんがどのような日常生活を過ごしたいと考えているのか」「有害事象を最小限にするためにはどうしたらよいのか」「有害事象が起こってしまった時にどのような対処をとればよいか」を、患者さんやその家族と共に話し合い考えています。最も施行件数の多い大腸癌の化学療法では、有害事象として皮膚障害や末梢神経障害をきたす薬剤を使用します。しかし、強い皮膚障害や末梢神経障害が出現すれば日常生活にも大きな支障をきたします。治療から帰宅後の患者さんの日常生活への支障が最小限になるように、より具体的な情報提供・生活上の提案をしていくことが必須になってきます。有害事象の程度を患者さんと共に確認し、必要時は主治医に報告し、治療の休薬、支持療法薬の使用、皮膚科診の相談をするなどタイムリーに連携を取ることも求められます。また外来化学療法を受ける患者さんの背景として、独居の方やご家族の方も療養中で多くのサポートを得られない方もあります。そのような場合は、地域連携室のスタッフと早めに連携をとり、地域全体でサポートできるよう環境を整えています。

このように、外来で患者さんに安全に安心して化学療法を受けていただくためには、個別的にまた包括的に患者さん1人1人を看護することが重要であり、必要に応じて医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・地域連携室スタッフなどとチームの連携が欠かせないと実感しております。

今後とも、患者さんに安心して化学療法を受けていただける外来化学療法室を目指し続けていきたいと考えております。

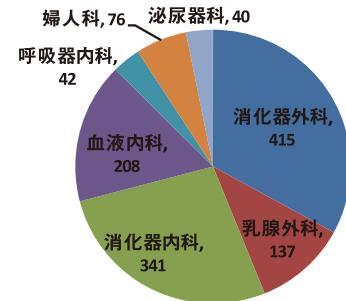


診療科別化学療法件数

H25.4～H26.3

消化器外科	415
乳腺外科	137
消化器内科	341
血液内科	208
呼吸器内科	42
婦人科	76
泌尿器科	40
計	1,259

内分泌療法他 1,411



## ● 平成26年度 第1回 加古川西市民病院市民健康講座を開催しました



平成26年6月15日(日) 加古川西市民病院 講義室において、加古川医師会の共催による市民健康講座を開催しました。今回は、「加齢にともなう眼の病気～知らなかつたこんな病気～」をテーマに145名の方が参加されました。

基調講演として、兜坂眼科医院の兜坂法文先生に「眼表面の病気について」、並びに当院の眼科 永井医長から「眼の中の病気について」、鳥田視能訓練士から「見えにくい時のお手伝い ロービジョン指導について」と題して、それぞれ専門の立場から分かりやすくお話ししていただきました。

ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光眼鏡などの機器を実際に用いての解説や参加者からの質疑応答などを通して、病院と住民の皆さんとのコミュニケーションを深める機会となりました。

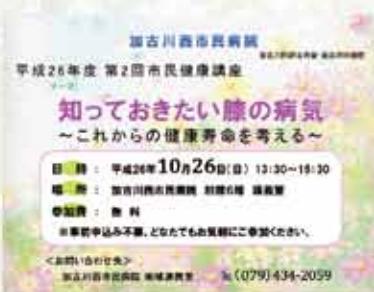
これからも医師会にご協力いただきながら、皆さんに健康で安心して暮らしていただけるよう、市民健康講座を通して情報をご提供させていただきます。

次回開催「平成26年度 第2回 加古川西市民病院市民健康講座」

日 時：平成26年10月26日(日) 13:30～15:30

テーマ：知っておきたい膝の病気

～これからの健康寿命を考える～



## ● 呼吸器内科の紹介

加古川東市民病院 呼吸器内科 医師：畠山 由記久



畠山医師



大寺医師

呼吸器内科の診療内容につきましてご紹介させていただきます。

加古川東市民病院では月曜日、木曜日の午後に呼吸器内科外来を行っております。

平素は近隣の医院、クリニックの先生方からのご紹介、加古川東市民病院に入院されておられる患者さんを院内の先生方よりご紹介いただくかたちでご予約いただき、診療しております。

主に紹介の内容は「せき」「息切れ」「胸痛」

などでお困りの場合や、健診や偶発的に指摘された胸部レントゲン写真での異常、呼吸機能検査の異常などとなっております。

当院での呼吸器専門外来では普段より加古川西市民病院との連携を深めており、入院での専門的加療が必要な場合は加古川西市民病院の呼吸器内科医師と綿密な相談が可能な体制になっています。そのため地域医療支援病院としてこの地域での包括的、継続的な診療ができるように、より努力してまいる所存です。

呼吸器に関して気になることは何でもご相談ください。

## ● 第2回東播磨医科歯科連携の会

加古川東市民病院 歯科口腔外科 部長：李 進彰

平成26年5月31日(土) 加古川西市民病院 講義室において、加古川医師会、高砂医師会、播磨歯科医師会の共催のもと第2回東播磨医科歯科連携の会を開催いたしました。

医科で処方される骨吸収抑制薬であるビスフォスフォネート(BP)製剤で、ごくまれに顎骨領域に骨壊死や骨髓炎を発症することが問題とされております。

今回は整形外科領域からは藍野大学保健学科特命教授 楊鴻生先生に「骨吸収抑制薬のリスクとベネフィット～顎骨壊死と非定型骨折～」、歯科領域からは兵庫医科大学歯科口腔外科教授 岸本裕充先生に「骨修飾薬使用中の患者に対する抜歯時の休薬の是非」の講演をしていただき、121名という多くの方が参加されました。

連携の会を通じて医科歯科相互の理解をはかり、今後のそれぞれの領域における診療の一助となり、患者さんへのより良い治療につながり、更には医科歯科病診連携の発展につながれば幸いです。



## ● 身の丈に合った地域貢献を目指す

加古川西市民病院・加古川東市民病院 リハビリテーション室 室長：時本 清己



加古川東市民病院リハビリテーション室では、医師から病気やけがに対する積極的な治療を受けられた方に急性期リハビリテーションサービスを提供しています。

当室は循環器疾患と整形外科疾患の患者割合が高く、急性期から亜急性期まで積極的に対応しています。

これまで、理学療法士6名、鍼灸マッサージ師1名の体制で対応してきましたが、6月1日からは作業療法士を1名、8月1日から理学療法士を1名増員し、サービスを充実させてまいります。

スタッフは、理学療法士養成校の臨床実習指導を通じて後進の育成に取り組みつつ、自らの知識や技術の習得にも熱心に取り組んでおります。神戸大学医学部保健学科臨床教授1名、運動器領域専門理学療法士1名、内部障害領域専門理学療法士1名、心臓リハビリテーション指導士3名、呼吸療法認定士2名、整形徒手理学療法士1名などの資格を有しております。

地域の皆様に認めていただけるよう良質なリハビリテーションサービスを提供してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

## ● 加古川東市民病院 平成26年度第1回健康教室を開催しました

テーマ：「コレステロールと心臓病」

機構事務部 人事課 係長：藤本 敬之

平成26年6月27日(金) 加古川東市民病院3F教室にて健康教室を開催しました。多くの方が出席され、会場は満席と盛況でした。循環器内科の嘉悦泰博医長による基調講演の後、看護師、管理栄養士がそれぞれの専門知識からテーマに沿った内容で講演を行いました。飲酒・食事・運動などの普段の生活における注意点や病気との関連性などの話と身近に感じられたからかもしれません、皆さん熱心に聞いていらっしゃいました。

講演後の質問では、予定時間いっぱいまで切れ目なく質問があり、皆さんの関心の高さがうかがえました。

健康教室は、現在年4回開催しています。これからもスタッフ一同、市民の皆さんのが興味を持っていただけるような情報を伝えできるように努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



### 次回開催「平成26年度 第2回 健康教室」

日 時：平成26年8月25日(月) 13:30～15:30

テーマ：ピロリ菌ってなんだ？

～ピロリ菌を除菌して病気を予防しよう～

講 師：消化器内科医師 織田 大介

# ● 外来診療表 加古川西市民病院

平成26年8月1日現在

新患受付 8:00~11:00 再来受付 8:00~11:00

※日程表は随時変更がありますのでご留意ください。

曜日		月		火		水		木		金	
科名	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合内科	鎮西	白木 (大西) (検診二次)	大西●	鎮西 (高血圧)	鎮西	宇高 (永田) (検診二次)	石川●		鎮西	石川 (西馬) (検診二次)	
糖尿病内科	永田●		永田●	小林	浜口●		樋谷●	永田 (糖尿病治療外来)	永田●	小林	
総合内科	西澤●				名村●			高山	宇高● (循環器)		
消化器内科	田村●		中村●		西澤●		寺尾●				
呼吸器内科	西馬●		植田●		木村●		西馬●	木村(禁煙外来)	植田●		
循環器内科		伴●	大西●		白木●		石川●		白木●	伴●	
腫瘍・血液内科	岡村		川本		岡村		岡村				
リウマチ科	田中●		山根●			葉	山根●/田中●		葉●		
フトケア外来		担当医		担当医				担当医		担当医	
緩和ケア外来				担当医							
	検査	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡
精神神経科	診察	担当医●		担当医●		担当医●		担当医●		担当医●	
	検査	1. 河野 2. 吉住 3. 田中		1. 河野 2. 吉住 3. 村尾		1. 西村 2. 吉住 3. 山口		1. 河野 (物忘れ外来) 2. 内藤 3. 松山		1. 河野 2. 吉住 3. 新光	
放射線科	診察	土師	診察はありません。	清水		土師	放射線治療	土師		土師	
	検査	放射線治療		特殊撮影	消化管透視	特殊撮影		特殊撮影	消化管透視	特殊撮影	
		MRI・CT		MRI・CT	MRI・CT		MRI・CT		MRI・CT		MRI・CT
小児科	診察	1. 親里● 2. 石森 3. 橋本 4. 永井	森川 発達フォローアップ	1. 西山● 2. 米谷 3. 中尻 4. 上田	横田 発達フォローアップ	1. 沖田● 2. 森川 3. 松本 4. 徳元	西山 代謝	1. 石森● 2. 平田 3. 松本 4. 大西	森沢 発達フォローアップ	1. 米谷● 2. 親里 3. 金川 4. 中尻(第2.4) 西山	大西 発達フォローアップ
	検査		森沢 発達フォローアップ	2. 米谷	松本 アレルギー	2. 森川 親里 小児神経		2. 平田 予防接種	2. 親里 小児神経	2. 親里 小児神経	
	心理	西山 内分泌	内分泌	3. 中尻	石森 腎臓	3. 松本 米谷 発達フォローアップ		3. 松本 橋本 アレルギー	3. 金川 石森 金川(第1.3.5)/ 中尻(第2.4) 小児神経	3. 金川 石森 4. 中尻 西山 在宅医療	腎臓
		岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 若松	岡田 若松	立本 牧	立本 牧
		1. 岡田● (肝胆脾外科外来)	1. 岡田● (肝胆脾外科外来)	1. 担当医●		1. 岡田● (肝胆脾外科外来)	1. 岡田● 2. 森本	1. 酒井●	1. 酒井●	1. 酒井●	
外科		2. 布施				3. 西原● (乳腺外来)	3. 西原● (乳腺外来)	2. 原田		2. 堀井	
小児科	久野●	安福(予約)	久野● 10:30まで	手術	安福●	安福(予約)	安福●	安福(予約)	久野● 10:30まで	手術	
整形外科	新患	担当医 10:30まで	手術	福田●	代診 再来診察はありません。	荷田●	手術	荷田●	齋藤● 福田(予約のみ)	手術	
	再来	再来診察はありません。		荷田		齋藤					
脳外科	石原●		石原●		石原●		石原●		診察はありません		検査
産婦人科	1. 奥 2. 房 3. 山田隆●	1. 奥 超音波 手術	1. 森本 2. 太田 3. 山田愛●	1. 森本 超音波	1. 山田隆 2. 奥 3. 森本●	1. 山田隆 超音波 手術	1. 房 2. 山田愛 3. 林●	1. 房 超音波 手術	1. 太田 2. 山田隆 3. 奥●	1. 太田 超音波 手術	
	初診	助産外来		助産外来	助産外来		助産外来	助産外来	助産外来	助産外来	
耳鼻科	安井 繁治 10:30まで 聴力検査	手術	安井● 繁治 聴力検査	安井(予約) 繁治(予約) 検査	繁治(第1.3.5)● 安井(第2.4)● (1診のみ) 聴力検査	予約検査	代診医 (1診のみ) 聴力検査	手術	安井● 繁治 聴力検査	安井(予約) 繁治(予約) 検査	
眼科	1. 原● 2. 松野 3. 別所 4. 辰巳 (小児手術)	子供外来 (田岡/辰巳/樋谷) 手術 レーザー治療	1. 田岡● 2. 樋谷● 3. 下山 4. 藤岡(第1.3.5) 糖尿病外来(第2.4) (手術)		1. 樋谷 2. 別所● 3. 原 (第1週は休診) 4. 藤岡 (硝子体注射) レーザー治療	検査 未熟兒眼底 手術 レーザー治療	1. 別所 2. 松野 3. 下山● 4. 藤岡	コントクト(下山) 術前検査 手術 レーザー治療	1. 下山 2. 樋谷 3. 原● 4. 松野	術前検査 レーザー治療	
泌尿器科	担当医●		担当医●				担当医●				
	岡	検査	安福	検査 第2・4 ED外来	手術 (診察はありません。)		岡	検査	安福 10:30まで	手術	
皮膚科	1. 山田● 2. 五木田	検査	1. 山田 2. 五木田●	検査	1. 山田● 2. 五木田	手術	1. 山田 2. 五木田●	検査	1. 山田● 2. 五木田	手術	

インターネット予約枠

●病診連携医師

★診療の都合上、診療医が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※精神神経科の初診受付は完全予約制になります。

# ● 外来診療表 加古川東市民病院

平成26年8月1日現在

科	診察室		月	火	水	木	金	
内 科	11	午前	安田	中村	清水	笠原	角谷	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
		午後	*	*	清水	笠原	角谷	午後 診察 13:00~ 再診(予約)のみ
	12	午前	久禮	吉松	山城	織田	山城	※呼吸器外来、腎臓内科、神経内科 受付 13:00~15:00 紹介のみ(要FAX予約)
		午後	大寺 (呼吸器外来)	*	*	畠山 (呼吸器外来)	*	
	13	午前	高見	本多	中村	古田	清水	
		午後	*	本多	*	*	清水	
	14	午前	熊谷 寛	安田	辻	本多	井上 通	
		午後	*	*	*	米倉 (腎臓内科)	*	
	16	午前	寺尾	平田	消化器担当医	當銘	古松	
		午後	*	*	山根 (リウマチ科)	*	*	
	22	午後	*	担当医 (予防注射)	*	*	*	
	23	午後	松岡 (14:00~15:30)	*	*	*	*	
	25	午後	*	笠原 (13:30~15:30)	*	*	*	
	33	午前	宇高 (予約のみ)	藤岡	鷲田 (神経内科)	神野 (糖尿病)	*	
		午後	清水	角谷 (13:30~15:30)	大西 裕	神野 (糖尿病)	古和 (神経内科)	
	37	午前	弁膜症外来	*	樋谷 (糖尿病)	大西 祥 (予約のみ)	嘉悦	
		午後	*	*	*	担当医 (ベースメーカー)	*	
	83	午前	吉川 (腎臓内科)	*	*	*	*	
小児科	72	午前	佐々木	谷中	井上 真	谷中	佐々木	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	74		三舛 10:00~	井上 真 10:00~	佐々木 10:00~	三舛 10:00~	井上 真 10:00~	午後 受付 (藤本医師のみ) 14:00~15:30 診察 14:30~
	76		*	*	*	*	*	※専門外来の診察は再診(予約)のみ
	72·74	午後	*	藤本 72	*	藤本 74	*	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	72·74		谷中 アレルギー外来 14:30~16:00 74	*	谷中 喘息 14:30~16:00 (予約なし) 74	井上 真 心、肝、腎 14:30~15:30 72	担当医 乳児検診 14:00~15:00 74	
	72·76		井上 真 夜尿症 72 14:30~16:00	吉田 夜尿症 76 第1,3週14:30~16:00	*	佐々木 神経外来 76 14:30~16:00	担当医 予防接種 72 14:30~16:00	
外 科	21	午前	堀	西田	*	堀	西田	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	23	午前	*	渋谷	*	担当医 (創傷処置)	*	
	27	午前	担当医 (創傷処置)		*	*	担当医 (創傷処置)	
整形外科	25	午前	西山	*	西山	織邊	西山	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	26	午前	高瀬	*	織邊	熊谷 宏	熊谷 宏	午後 診察 14:30~ 再診(予約)のみ
	25	午後	*	*	西山 (股関節外来)	*	*	
形成外科	22	午前	前田	*	前田	*	前田	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	23	午前	岩谷	*	岩谷	*	岩谷	午後 受付 14:00~16:00 診察 14:30~
	22	午後	*	前田	*	*	*	
	23	午後	*	岩谷	*	*	*	
心臓血管外科	27	午前	*	大保	*	脇山	*	午前 受付 8:30~11:30 初診は紹介のみ 9:00~
	27	午後	*	大保	*	脇山	*	午後 診察 14:00~ 再診(予約)のみ 14:00~
	25	午後	*	*	泉 聰	*	*	
産婦人科	83·84	午前	*	山下	*	田中 (予約のみ)	*	午前 受付 8:30~11:00 診察 9:00~(予約)のみ
(乳癌検診)	83	午後	*	*	*	泉 融 (乳癌検診)	*	※乳癌検診(電話予約) 診察14:00~
歯 科 口腔外科	91	午前	柚島・松本 石田 (松尾)	李・松本 石田・松井 (松尾)	李	李・柚島 石田・明石 (松尾)	李・柚島 石田・明石 (松尾)	午前 受付 8:30~11:30 診察 9:00~
	91	午後	李・柚島 松本・石田 (松尾) 14:00~	李・柚島 松本・石田 (松尾) 14:00~	柚島 松本・石田 (松尾) 14:00~	長谷川 14:00~	柚島 松本・石田 (松尾) 14:00~	午後 診察 14:00~ 再診(予約)のみ
放射線科			中村	中村	中村	中村	中村	受付 8:30~
眼 科	75	午後	*	*	*	担当医 入院患者のみ	*	木曜日 受付(入院患者のみ) 12:45~13:45 診察 13:00~14:00

※＊は診察がありません。

※ ( ) の部分が変更箇所です。

※人間ドック 脳疾患検査(月~金) 13:00~ 肺癌検査(木・金) 13:00~

※ ( ) は研修医です。

# ● 東・西チーム医療紹介

## 唇裂・口蓋裂の治療の取り組み

加古川東市民病院 形成外科 医長：岩谷 博篤



加古川東市民病院：李医師、岩谷医師



加古川西市民病院：森沢医師、黒田言語療法士  
岡田臨床心理士、安井医師、米谷医師

唇裂・口蓋裂は、先天的にくちびるや顎の癒合がうまくいかずに裂隙を生じている状態です。口唇裂、口蓋裂単独のものから、くちびるから口の中まで全て割れているようなケースまであり、それによってもたらされる障害も様々です。

唇裂・口蓋裂のお子さんを出産されたお母さん、およびご家族の方々の衝撃や不安は非常に大きいと思います。しかし、医学の進歩に伴って唇裂・口蓋裂の治療はかなり進んでおり、きちんと治療できる疾患であるということを初めに知っていただき、安心して治療を受けていただきたいと考えております。

唇裂・口蓋裂治療は形成外科医、口腔外科医、耳鼻科医、矯正・小児歯科医、小児科医、言語聴覚士、臨床心理士などのスタッフによるチーム医療を必要とする高度医療の一つであり、加古川西市民病院および加古川東市民病院の合併に伴い、当院でも唇裂・口蓋裂治療を行うことが可能となりました。

今後、積極的に治療を行っていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

唇裂・口蓋裂の治療について

加古川西市民病院・加古川東市民病院  
唇裂・口蓋裂治療チーム



## ● 退院支援・退院調整研修を開催しました

平成26年6月5日(木)加古川西市民病院において、講師に在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィスの宇都宮宏子先生をお招きして、「これからのお退院支援・退院調整」をテーマに二部構成で研修会を開催しました。

第一部は、西市民病院・東市民病院の各部署から看護師長および退院支援の中心となる看護師2～3名が出席し、病棟・外来の退院支援・退院調整の現状分析を行い、課題を確認しながら退院支援の在り方・仕組みづくりについて指導を受けました。



第二部は、西市民病院・東市民病院の全職員を対象として、宇都宮宏子先生より「おうちへ帰ろう～生活を支える医療へつなぐ～」という演題で、退院調整についてのお話をいただきました。

東市民病院には、テレビ会議システムを通じて中継を行い、西市民病院の会場では、院外から訪問看護師、介護支援専門員の方36名を含め、計186名の参加をいただきました。

講演の内容は、『入院は、あくまで通過点で、患者さんは生活者である。人生を生きる人として“総合的に”とらえることが大事である。病態予測に基づき、“一歩前に行く道案内”が看護師の役割で、患者さんと一緒に“考える、決める”ことを支えよう』という内容でした。

受講した院内参加者からは、「看護をしている中で“本当にこれでよいのか”と悩んでいたことが今日初めて言葉として聞けたような気がする。」「患者さんの意思を一番に考えて退院支援ができるようになりたい」「地域で支えるチームの一員でありたいと思った。」地域の医療者からは、「訪問看護師から病棟へ飛び込むのは勇気がいるがチャンスがあればぜひ飛び込み、本当の連携を図りたい。」「宇都宮先生の講演は3回目ですがいつ参加しても大きな刺激を受ける。」などの感想をいただきました。

急性期病院の医療者として、地域包括ケアシステムの構築にどう取り組んで行くかは大きな課題ですが、地域の医療関係者の皆さんと顔が見える関係で退院支援の体制づくりに取り組んで行きたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



● 加古川西市民病院 地域連携室 ●  
TEL (079) 434-2059 (直通)  
FAX (079) 434-2033 (直通)

● 加古川東市民病院 地域連携室 ●  
TEL (079) 437-3285 (直通)  
FAX (079) 437-3286 (直通)